

2026 スリークロス 大会実施概要

1. イベント名

2026 MIX3™ / 2026 スリークロス ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS

2. 大会スローガン

*USE YOUR STRENGTHS.

3. 大会ビジョン

“もっと近くで、ワクワクしようぜ”

4. 2024シーズン開催会場イメージ

- (1) 2/23 月祝 | スリークロス和歌山 OP / Div. 2-3 | @上富田文化会館
- (2) 2/28 土 | スリークロス青森 OP / Div. 2-3 | @弘前市民会館
- (3) 2/28 土 | スリークロス長野 OP / Div. 2-3 | @駒の里ふれあいセンター
- (4) 3/8 日 | スリークロス 九州 CS / Div.1-3 | 宗像ユリックス
- (5) 3/20 金祝 | スリークロス Div.1 FINAL / Div.1-3 | 関東学院大学 金沢八景キャンパス
- (6) 3/29 日 | スリークロス東海 CS / Div.1-3 | @東海学院大学
- (7) 3/29 日 | スリークロス山形 OP / Div. 2-3 | @大江町ふれあい会館
- (8) 4/18 土 | スリークロス関東 CS / Div. 2-3 | @テアトルフォンテ
- (9) 4/19 日 | スリークロス東北 CS / Div. 2-3 | @リフノス
- (10) 4/26 日 | スリークロス 関西 CS / Div.1-3 | @奈良学園大学
- (11) 5/4 月祝 | スリークロス Div.2-3 FINAL / Div.2-3 | @紅葉坂ホール

5. 主催

NPO 法人 マーチング祭®

6. MIX3™について

- (1) MIX 3™ とは「マーチング・インターリーグ・スリークロス」の略称である。
- (2) 令和3年 | 2021年よりマーチング祭®が立ち上げた、セクション別極小編成マーチング交流イベントである。
- (3) 3部門（カラーガード/ドラム&パーカッション/ウインズ） | 3編成 (Div.1/Div.2/Div.3) で構成される。
- (4) 審査員をいれて、審査項目に沿ってスコアリングし、スポーツイベントとしての楽しさを創る。
- (5) 様々な場所、地域から集まったり、ショウを披露しあったりすることで交流を深めたり、より高いレベルの技術やショウを磨いたりすることを通して、生涯に渡って愉しめる体験や機会を創る。
- (6) 本イベントはアメリカのWGI (Winter Guard International) を参考にしている。
 - WGI ホームページ | <https://wgi.org/>
 - 参考動画 | <https://www.youtube.com/watch?v=KYImBwPRIzs>

7. スリークロス ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS 開催の意図 / 背景

(1) 日本マーチングに春シーズンをつくる

これまで日本マーチングシーズンは、主に「9月～12月のマーチングバンド」の大会が中心だった。ここに「2月～5月のセクション別大会 / スリークロス」を創設しようと考え、2021年に「MIX3™ / スリークロス」を立ち上げた。スリークロスとは「マーチング・インターリーグ・スリークロス」の略称であり、マーチングの普及発展だけでなく、マーチングを通した交流も行っていきたいと考えている。

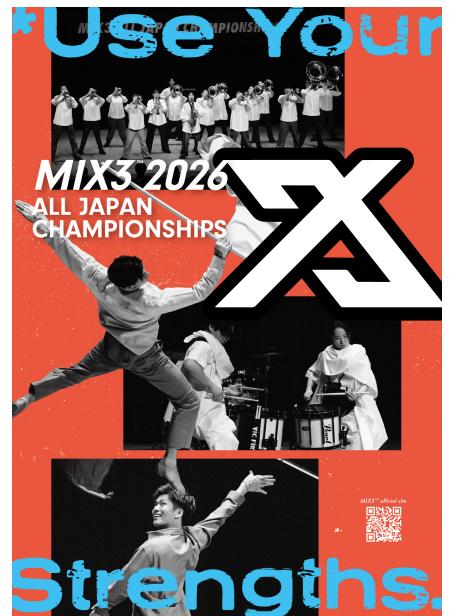
スリークロスは次のような特色を持っている。

- ・極小編成からエントリーできる
- ・オープンエントリーで、全国のどこからでも参加できる
- ・3つの部門に分けられている (Winds / Drum & Percussion / Color Guard)
- ・3つの編成があり、チームの人数に応じて柔軟なショウづくりが可能
- ・交流も念頭に置いており、参加チームが相互に交流できる機会もつくっている
- ・出演者全員に賞状を贈呈

(2) 極小編成でも挑戦できる/はじめられる場をつくる

これまでマーチングに取り組みたくても安易には取り組めない環境があった。

- ・楽器を揃える難しさ
 - ・人数を揃える難しさ
 - ・練習場所を確保する難しさ など
- これらを克服し、もっと手軽に、もっと身近にマーチングに取り組めるようにするために、スリークロスは編成や運営方法などにさまざまな工夫をしている。
- ・1名から極小編成部門 (Div.3) にエントリーできる



- ・2つのフロアサイズ展開 (Div.2/3 : 10m × 7.5m | Div.1 : 25m × 15m) があり、極小編成では会議室や駐車場でも練習ができる
- ・音響機材の使用を可能とし、少ない楽器でも参加ができる
- 読するとフロアサイズこそ小さいように感じるかもしれないが、実際のパフォーマンスを見るとこうした印象は殆ど感じない。むしろ、フロアサイズの使い方やアイデアが際立って感じられる。これまでのマーチングの概念とは全く異なる楽しさがスリークロスにはある。

(3) 個性を表現/発揮する喜びや楽しさを共有し、交流し、互いに盛り上げ/盛り上がるマーチングエンタメ文化を創る

スリークロスはエンターテイメント性が高い。

なぜなら

- ・人数構成が少ないため、様々なアイデアが際立つ
- ・マーチングバンドの大会に比べてチームショウの時間も短いため、観戦しやすい
- ・音響機材を活用したショウづくりが可能
- ・近い距離で鑑賞できる
- ・チームロゴやオリジナルチームを掲載する仕組みがある (2023年は3つ以上のチームが誕生した)

その他、大編成クラス人数のチームをいくつかの小編成チームに分けて出場したり、演奏会演目の一節を複数チームのスリークロスショウで構成してそのままスリークロス大会にエントリーしたりするというチームも出てくるだろう。こうした一連の取り組みや活動をフォローするファンが相互に共鳴しながらマーチングエンタメ文化が豊かになっていくと考えている。



(4) オープンエントリーのリーグ制大会

スリークロスは全ての大会にオープンエントリーでどこからでも/誰でも参加できるリーグ制の大会である。これはアメリカのDCI (Drum Corps International) やWGI (Winter Guard International) などで採用されている大会と同様の方式である。トーナメント制の大会では予選を勝ち抜いたチームにのみ次の大会出場権利が与えられるため、人数が少なかったり、立ち上げたばかりだったりするチームなど、十分な環境や条件が揃わないチームには出場機会そのものが得にくいという現状があった。スリークロスでリーグ制を採用した理由は、①加盟が必要なくエントリーするだけで出場できる環境をつくりたい、②出場機会を誰にでもつくりたい、という考えがあつたためだ。



オープンエントリーのリーグ制大会であるため、①その会場にエントリーしたチームでスコアを競う、②いくつかの大会会場にエントリーしながら評価/評定を元に、シーズンを通してショウをより良くしていく、③大会に出場する会場を選択しながらシーズンをデザインできる、といった良さを活かしてこれまでとは全く異なるマーチングシーズンをつくることができるようになった。スリークロス大会への出場ツアーを組みながら、選手とファンの双方がマーチングシーズンを楽しめる環境ができたといえる。

また、各会場で渡している審査コメントとクリティック（審査員から直接アドバイスがもらえる）を通して、これまでのマーチング大会とは比較にならない程多くのアドバイスがもらえる為、短時間でレベルを上げたりショウを改善したりできるという選手やクリエイターへのメリットもつくれた。スリークロスのリーグ制大会システムは選手だけでなく、ショウクリエイターの育成にも大きく役立つだろう。

(5) 全国各地で楽しめる土壤をつくるスリークロス | FC スリークロス構想

スリークロスはフロアサイズが小さい為、極小編成 (Div.3) / 小編成 (Div.2) だけであれば小学校体育館 (2023年シーズンで横浜市小学校体育館で大会実施実証済) でも開催できる。大編成 (Div.1) も、中学校/高等学校バスケットコートのフロアサイズだ。つまり、高校や中学校の体育館でスリークロス大会を開催できる。大会のコンパクトさを活かして全国の様々な会場で手軽に開催できるようにしたいと考え、2021年に「FC スリークロス」も立ち上げた。スリークロス大会を開催希望する方に、①大会の開催/運営システムの共有、②エントリーフォームや審査員手配などの事務手続きは主催者 (NPO法人マーチング祭®) で行うなどのサポート、③開催希望者と主催者が相互に情報を共有したりサポートし合ったりする情報共有体制の構築など、持続可能な大会運営システムを提供/共有する仕組みである。



大会運営方法を法兰チャズすることで、「大会を開催/運営する楽しさ」も、希望する方々に提供できるようにしたい。持続可能で、より汎用性の高い方法で、マーチング大会を各地で開催できるようすることによって、マーチングをもっともっと色々なところで開催できるようになる。お祭りとのタイアップや地方自治体のイベントとしてなど、スリークロスは大会の開催方法も身近にした。

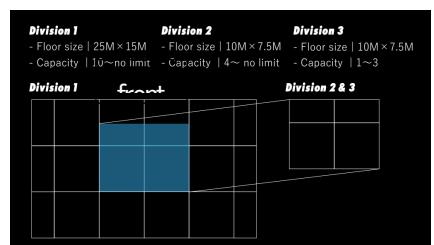
8. 参加資格

- マーチングを愛好する小・中・高校生および一般の方。
- 未成年者（開催年度4月時点での年齢が18歳以下）参加の場合は、団体代表者及び、保護者同伴で参加すること。
- 小/中/高/大学各団体4月以降の参加の場合、前年度の最終学年（卒業生）の出場も同団体メンバーとしての出場を認める。
- オープンエントリーとし、活動地域は問わない。
- 個人 / チームとしての参加可（事前の団体登録などの必要はありません）

9. ルール概要（詳細については、マーチング祭のホームページをご確認ください）

(1) フロアサイズ

- Div.1 | 25m × 15m
- Div.2&3 | 10m × 7.5m



(2) 人数編成

- Div.1 | 10名以上
- Div.2 | 4名以上
- Div.3 | 1~3名 | スタンドOK / soloOK

(3) パフォーマンスタイム

- Div.1 | 4分~6分 (入退場10分以内)
- Div.2 & 3 | 3分~5分 (入退場9分以内)

*セッティングからパフォーマンススタートまでを2分以内に行う

*合図をする人を、各団体につくる | 合図を受けてアナウンス開始→音楽スタート | 合図を受けてパフォーマンス終了

(4) 使用楽曲/著作権など

① 本大会では著作権フリー楽曲の使用を強く推奨する。

理由：インターネットで動画配信が可能となるため。音源使用料の大幅な削減ができるため。

定額制著作権フリー音源提供サイト：アートリスト <https://artlist.io/jp> | プレミアムビート <https://www.premiumbeat.com/ja/>

- ② 使用楽曲/音源については、各出場団体で使用許諾及び使用許可申請し、使用料は使用団体にて負担すること。（当組織はJASRACへのイベント著作権使用料を除く、個/団体の使用料負担の一切を負わない）
- ③ 市販の市販のCD音源をCD-Rに録音して使用する場合は、団体の責任において一般社団法人日本レコード協会 (https://www.riaj.or.jp/f/leg/rec_license/) に使用許諾申請を行うこと。
- ④ 楽曲を会場スピーカーから流す場合は各団体から一名、「音響係」を出すこと。（「音響係」とは：本番時に、音響担当にスタートのきっかけを伝えたり、音源媒体を渡したり、終了を進行に伝えたりする者を指します。）

(5) ジャッジ / 審査

- ① 各会場に、3名以上 (C.G.1名 / D&P 1名 / Winds1名) の審査員を設ける。
- ② 審査は、①G.E.2名（ショウの全体効果）/ ②Analysis1名（ショウ構成や達成度/Proficiency 習熟度合）で行われる。
- ③ 3名の審査員は、それぞれの専門部門審査では「Analysis」を審査する。それ以外は「G.E」を審査する。
- ④ シーズン最後のFINALは、ダブルパネル（各キャップション2名）でジャッジを設ける。

10. 入場料

一般1,000円 / 小学生以下無料

* 1：プレイガイドでのチケット販売は行いません。当日券を会場でお求めください。

* 2：未就学児は席を使用しない場合無料/席が必要な場合は有料とします。

11. 主催者：NPO 法人 マーチング祭®について

(1) 発足

2018年 / 平成30年4月 | マーチング祭組織委員会発足
2023年 / 令和5年1月 | NPO 法人マーチング祭 設立

(2) 理念

マーチングを通して日本の音楽文化を豊かにする

(3) ビジョン

マーチングを、もっと身近に

(4) ゴール

マーチングが“小学生のお稽古事”として日本中に定着している世界

(5) 商法登録

- ① マーチング祭® / 商標登録第6379783号
- ② Sport of Sound® / 商標登録第6379784号

(6) 近年の活動

- MIX3™ ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS 開催（5月に全国大会としてファイナルを横浜で開催）
- マーチング祭 ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS 開催（1月に全国大会として横浜ファイナルを開催）

(7) 役員

理事長 | 鶴巻 敬
副理事長 | 諸見 賢
理事 | 鈴木 優一

2023スリークロス大会事務局（NPO 法人マーチング祭®）

〒194-0001 東京都町田市つくし野1-4-13 (担当: 鶴巻 敬 / 諸見 賢)

TEL : 090-9491-1791

mail : info@marching-matsuri.com

H.P. : <https://www.marching-matsuri.com/>

